

## ブラジル・サンパウロ州姉妹提携 40 周年事業にかかる議員派遣について

三重県では、サンパウロ州と昭和 48 年 11 月に姉妹提携を締結して以来、政府代表団の訪問、海外技術研修員、国際交流員の受入れなどの交流事業を継続し、現在に至っています。

また、ブラジルは、2014 年に F I F A（国際サッカー連盟）ワールドカップ（サンパウロ市ほか）、2016 年に第 20 回夏季オリンピック（リオデジャネイロ）の開催が予定されており、さらにサンパウロ市が 2020 年の万国博覧会開催地に立候補しているなど、世界中から注目を集めています。

このような中、本年は姉妹提携 40 周年、三重県人移住 100 周年を迎えることから、現地で式典が開催される予定となっており、県は、この式典に合わせ、行政、経済、民間からなる訪問団を派遣し、両県州の連携強化を図ることとしています。

については、県が訪問団を派遣するにあたり、議会に対して、行政団への議長の参加とともに、議長とは別に、議員の派遣についても要請があったものです。

### 1 訪問の概要

#### (1) 目的

サンパウロ州との姉妹提携の新たな展開を図るため、サンパウロ州政府を訪問し、トップレベルの人脈形成を図るとともに、三重県の総合プロモーションを展開し、県内企業の産業連携、県産品の販路拡大、日系人を主な対象とした誘客促進につなげる。

#### (2) 日程（予定）

平成 25 年 8 月 16 日（金）～ 23 日（金）

#### (3) 主な用務（予定）

- ① 先没者慰霊碑献花
- ② ブラジル三重県人会 三重県人移住 100 周年記念式典・交流会
- ③ サンパウロ州政府・州議会訪問
- ④ 三重県出身者農園訪問
- ⑤ 移民資料館訪問
- ⑥ 海外日系人支援センター訪問
- ⑦ 三重プロモーション（サンパウロ総領事館公邸）
- ⑧ ビジネスセミナー・マッチング交流会

### 2 前回（平成 20 年度）の対応

サンパウロ州姉妹提携 35 周年及び日本人移住 100 周年記念事業の際は、1 名（国際交流促進議員連盟副会長・同連盟日本・ブラジル部会長）を派遣

# 2013ブラジルミッションについて

## 1 基本的な考え方(「友好交流」→「経済交流」)

- 35周年事業後においても、サンパウロ州との交流や往来が継続しているが、他方、グローバル化の進展等世界経済の急激な変化により、あらゆる面において海外との相互依存関係が深化。
- 親善を目的とした「友好交流」の必要性は低下。限られた資源のなか、結果的に単発的な友好親善関係にとどまる交流だけではなく、持続的な関係を築いていく視点が重要。
- これまでの交流で得た人脈等資源を、「経済交流(観光連携、産業連携)」等幅広く活用すべく、友好交流先との関係についても、持続的な関係構築の視点から改めて見直す。



- ブラジルについては、サンパウロ州との40年にわたる姉妹提携関係や三重県人会(約400人)との繋がりは貴重な財産であり、また、ブラジルは親日的な国であるとともに、富裕層も多い日系人が約150万人存在することから、継続的関係の構築が可能。
- 県産品の販路拡大や日系人の里帰り時の来県促進など「経済交流」に重点を置いた対応をすることとする。

## 2 ブラジル(サンパウロ州)経済の急成長

【GDPランキング表】 出所:PricewaterhouseCoopers 2011年1月発表

	2009年	2020年	2030年	2040年	2050年
1位	アメリカ	アメリカ	アメリカ	中国	中国
2位	日本	中国	中国	アメリカ	アメリカ
3位	中国	日本	インド	インド	インド
4位	ドイツ	ドイツ	日本	日本	<u>ブラジル</u>
5位	フランス	インド	ドイツ	<u>ブラジル</u>	日本
6位	イギリス	フランス	<u>ブラジル</u>	ドイツ	ロシア
7位	イタリア	イギリス	フランス	ロシア	メキシコ
8位	<u>ブラジル</u>	<u>ブラジル</u>	ロシア	フランス	ドイツ
9位	スペイン	イタリア	イギリス	イギリス	イギリス
10位	カナダ	ロシア	イタリア	メキシコ	インドネシア

	約10年前	最新値又は推計
長期債務格付け	B+(2004年)	BBB(2011年)
自動車販売台数	138万台(2003年)	380万台(2012年推計)
富裕層	7%(2003年)	15%(2014年推計)
中間所得層	38%(2003年)	57%(2014年推計)

特徴① GDPの中心は国内消費!

特徴② 高スペック消費性向拡大中!

特徴③ 日本製品の浸透のしやすさ!

### サンパウロ州の魅力

(ブラジル全体:12,789ドル)

GDP:7920億ドル(約32%)、人口:4200万人(約22%)、一人当たりのGDP:19,029ドル

トヨタのカローラが現地で400万円(輸入車は600万円)と高価であるにも関わらず売れる市場があり、富裕層、中間層も多い。

昨年開催されたフェスティバルドジャポンでは、Hondaのブースで1日100台売れるほど、購買欲旺盛である。